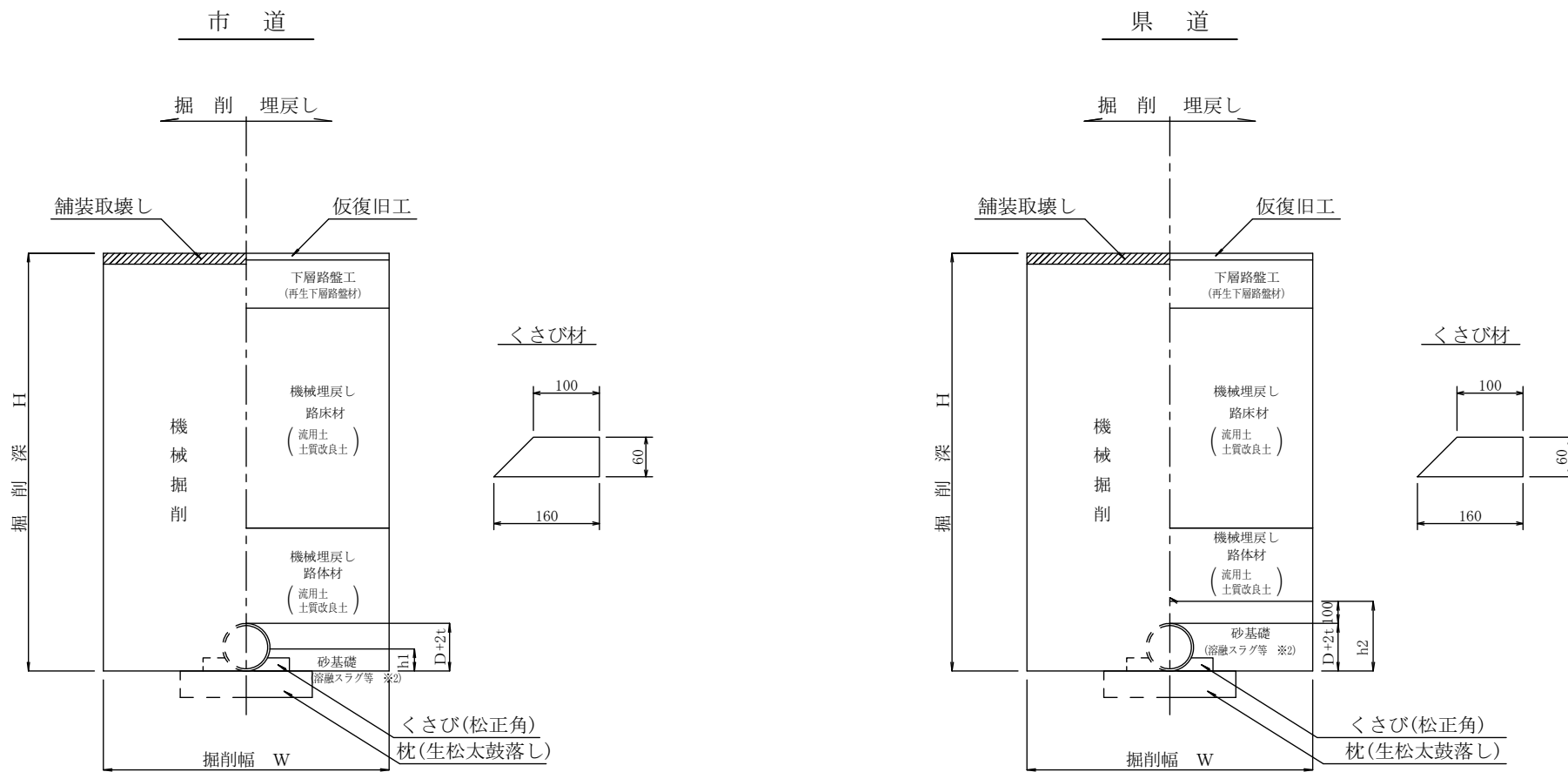


土工定規図

(下水道用鉄筋コンクリート管・JSWAS A-1)



諸元

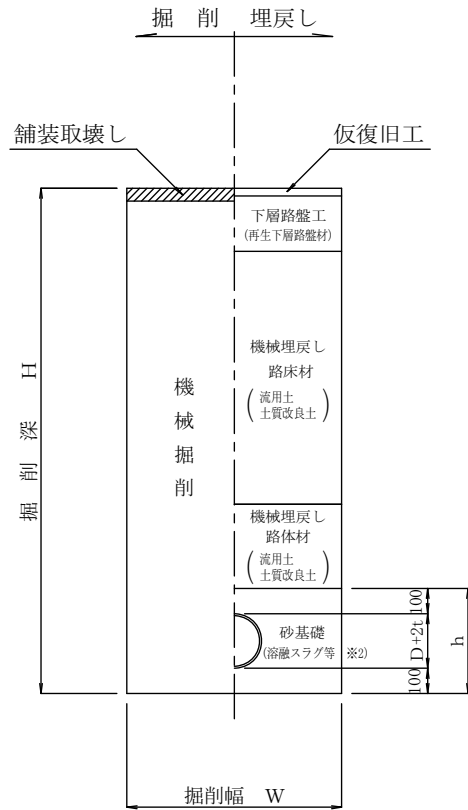
管径 D (mm)	管長 L (mm)	管厚 t (mm)	掘削幅 (アルミ矢板) W (mm)	掘削幅 (軽量鋼矢板) W (mm)	砂基礎厚 (mm)		溶融スラグ等 10m当り (m ³) ※2 (アルミ矢板)		溶融スラグ等 10m当り (m ³) ※2 (軽量鋼矢板)		生松太鼓落し (mm)			松正角
					h1	h2	市道	県道	市道	県道	末口	仕上	長	
250	2,000	28	950	1,000	153	406	1.086	3.122	1.162	3.325	105	75	450	60×60
300	〃	30	1,000	1,050	180	460	1.291	3.583	1.381	3.813	〃	〃	〃	〃
350	〃	32	1,050	1,100	207	514	1.501	4.052	1.604	4.309	〃	〃	〃	〃
400	2,430	35	1,150	1,150	235	570	1.836	4.821	1.836	4.821	120	90	〃	〃
450	〃	38	1,200	1,200	263	626	2.070	5.340	2.070	5.340	〃	〃	600	〃
500	〃	42	1,250	1,250	292	684	2.311	5.873	2.311	5.873	〃	〃	〃	〃

※国道における埋め戻し材の選定については、別途協議による。

※2) 溶融スラグ等とは、葵区・駿河区では溶融スラグ、清水区ではスラグ入り混合砂の事である。

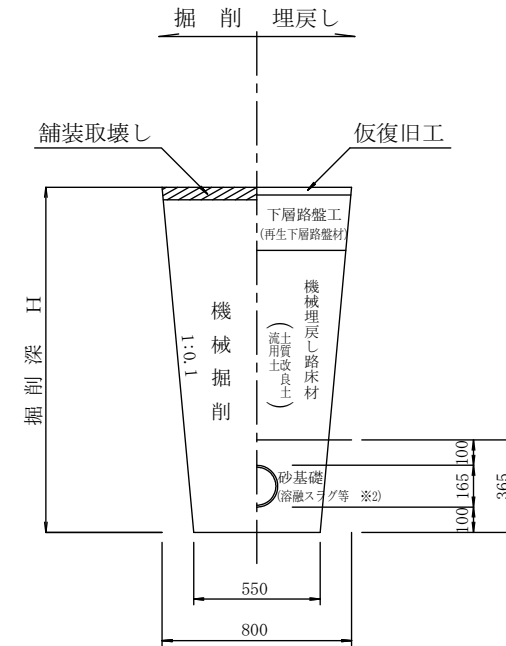
土工定規図

(下水道用硬質塩化ビニル管・JSWAS K-1)



取付管土工定規図

(φ150mm標準)



※掘削深が1.5mを超える場合には土留工を施すこと。
 ※民地内の砂基礎は再生砂とする。

諸元

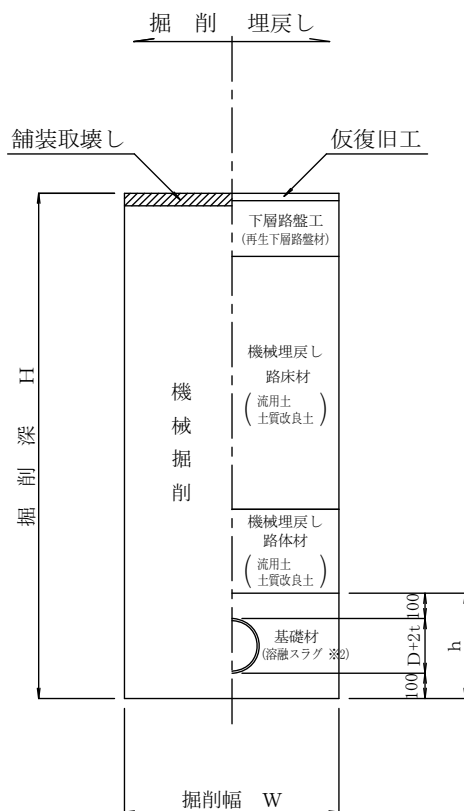
管径 D (mm)	管長 L (mm)	管厚 t (mm)	掘削幅 (アルミ矢板) W (mm)	掘削幅 (軽量鋼矢板) W (mm)	砂基礎厚 h (mm)	溶融スラグ等10m当り (アルミ矢板) ※2 (m3)	溶融スラグ等10m当り (軽量鋼矢板) ※2 (m3)
200	4,000	8	850	900	416	3.170	3.378
250	〃	9	900	950	467	3.643	3.877
300	〃	9	950	1,000	518	4.127	4.386
350	〃	10	1,050	1,050	570	4.910	4.910
400	〃	10	1,100	1,100	620	5.435	5.435
450	〃	10	1,150	1,150	670	5.971	5.971

※国道における埋め戻し材の選定については、別途協議による。

※2) 溶融スラグ等とは、葵区・駿河区では溶融スラグ、清水区ではスラグ入り混合砂の事である。

土工定規図

(下水道用リブ付硬質塩化ビニル管・JSWAS K-13)



諸元

管径 D (mm)	管長 L (mm)	管厚 t (mm)	掘削幅 W (mm)	砂基礎厚 h (mm)	スラグ10m当り (m^3)
200	4,000	3	950	406	3.524
250	〃	3	1,000	456	4.406
300	〃	4	1,050	507	4.584
350	〃	4	1,100	557	5.127
400	〃	4	1,150	608	5.685
450	〃	4	1,200	658	6.249

※国道における埋め戻し材の選定については、別途協議による。

※2) 溶融スラグ等とは、葵区・駿河区では溶融スラグ、清水区ではスラグ入り混合砂の事である。